

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

肝疾患専門医療機関におけるウイルス肝炎陽性者への対応に関する研究

2. 研究の対象患者

当院を受診しHCV抗体、HBs抗原検査を実施した患者さんで、以下の選択基準をすべて満たし、除外基準のいずれにも該当しない患者さん

・選択基準

- 1) 血清中HCV抗体またはHBs抗原検査を実施した患者さん
- 2) 年齢不問
- 3) 性別不問

・除外基準

- 1) 特に除外基準は定めない

3. 研究の対象期間

2019年1月1日～2023年12月31日

4. 研究の概要

慢性肝炎による健康被害を最小限に抑えるためには、①受検：検査を受けること②医療機関を受診すること③適切な治療を受けることの3ステップが滞りなく進むことが重要とされている。

周知の通り、B型肝炎ウイルス感染症は核酸アナログ治療により制御可能であり、C型肝炎ウイルス感染症は経口薬治療の進歩により治療可能な疾患となっている。しかし、その一方で、自らのウイルス感染を知らない患者、感染を知らずに受診していない患者が多数存在すると報告されており、ウイルス肝炎陽性者を適切に治療に結び付けることが課題となっている。

本邦では、B型肝炎で57.4%、C型肝炎で48.0%と半数近くがウイルス肝炎検査を受検しているが、被験者が受検を認識していない非認識受検がそれぞれ39.8%、30.4%、と高い割合を占めている。その多くは手術前や内視鏡検査前と考えられており、医療機関で行われているウイルス肝炎の検査の結果が適切に患者へ説明されていない可能性が示唆される。

ウイルス肝炎検査結果を把握し、検査陽性者への受診勧奨を行うためには、効果的な対応方法の構築が重要と考えられる。

当院では、2021年1月より【C型肝炎マンスリーレポート】を中央検査科より発行し、担当医がウイルス肝炎の検査結果を適切に患者へ説明する手助けとなるような活動を開始した。

今回はその活動開始が実際にウイルス肝炎検査陽性例の消化器内科受診へ結びついたのかを調査する。

5. 研究実施予定期間

2022年7月20日～2024年12月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

〔研究対象者背景〕：生年月日、年齢、性別、ウイルス肝炎治療歴、予後

〔血液検査〕：HCV抗体、Hbs抗原、HCVRNA検査、HBVDNA検査、その他肝炎ウイルス関連検査

7. 研究により得られた結果等の研究対象者への説明方針

本研究は既存の日常診療情報を用いる後向き観察研究であることを踏まえ、研究対象者の健康状態等の評価に関する知見が得られた場合でも、研究結果を研究対象者（又は代諾者）個々に開示することはありません。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

・ 研究責任者： 消化器内科 糸林詠

・ 臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)